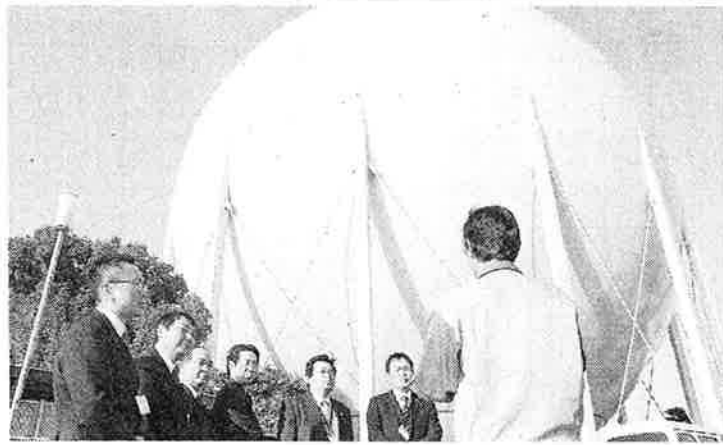


2012年(平成24年)4月20日(金曜日)



ガスホルダーについて担当者(右端)から説明を受ける伊藤氏(左端)ら

安全性の周知求める

ガス会社で燃料貯蔵施設を調査 伊藤氏ら

名古屋市

公明党愛知県本部の伊藤渉(たまた)災害・減災対策部長(次期衆院選予定候補)は比例東海ブロック)はこのほど、名古屋市東邦ガス株式会社本社を訪れ、大規模災害が発生した場合の対策やガスホルダーなど、燃料貯蔵施設の安全性について調査を行った。これには三輪芳裕、福田誠治、中村満、沢田晃一、佐藤健一の各市議が同行した。

伊藤氏ら一行に対して同社の担当者は、災

害時にガスによる事故が起きないように、独自の地震計を設置するとともに、ガス供給エリアを59のブロックに分け、ブロックごとにガスの供給を止めることが可能であると説

明。また、燃料を一時的に貯蔵しておくガスホルダーについては、1基につき15年に一度、調査員がホルダーの中に入って点検を行い、さびや不具合が出てい

た場合は補修しているという。これに対して、伊藤氏は、東邦ガス管内にあるガスホルダーの周辺住民が安全性に不安を抱えていることを指摘。

住民への説明会について、同社が必要に応じて開いている現状を踏まえ、「安全性に問題がないということをもっと積極的に説明するべきだ」と要請した。